

<経済産業省 広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業>

平成18年度第4回福島県医療福祉機器研究会及び第3回医療福祉現場ニーズ発表会を開催しました。

○日時 平成19年1月25日(木) 13:30~17:00

○場所 福島県ハイテクプラザ(福島県郡山市待池台1丁目12番地)

○参加人数 39名(22企業・団体)

○講演内容

福島県医療福祉機器研究会の会員を中心とした医療機器等製造関係者を対象として、医療福祉機器研究会及び医療福祉現場ニーズ発表会を開催しました。

医療福祉機器研究会では、医療機器業界におけるマーケティングの専門家である株式会社カワニシホールディングスの松下氏より、「医療機器の市場動向・技術開発動向」と題して、医療機器製造販売業に進出する際の課題と展望について講演をいただきました。

医療福祉現場ニーズ発表会では、まず福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座の横川氏より「脳梗塞の発症予防の立場から…メタボリックシンドロームとの関連を含めて…」と題して、脳梗塞発症の予知についての研究成果を発表していただき、あわせて研究成果を応用した検診機器についてのニーズを示していただきました。

つぎに、「リハビリテーションと介護の現状と今後の展望」と題して、福島県郡山市の財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院リハビリテーションセンター長の山口氏より、患者の方の自立支援や介護予防を目的として病院で行われているパワーリハについて発表していただきました。

最後に、当センター科学技術コーディネーターの野田より、保健およびリハビリテーションや介護分野におけるビジネスチャンスについて総括させていただきました。

○講演の様子



医療福祉機器研究会  
「医療機器の市場動向・技術開発動向」

医療福祉現場ニーズ発表会  
ビジネスチャンスについて総括